

## **1. 九十九里地域の観光の現状と課題**

### **(3)観光・交流における九十九里の課題**

## ●九十九里の観光動向

➤千葉県におけるコロナ禍の2019年までの観光入込客数、宿泊客数、外国人宿泊者数は増加傾向にあったが、九十九里地域はコロナ禍前から、観光客入込客数、宿泊客は減少傾向にあり、宿泊客に占める外国人の比率は、千葉県全体の19.8%(2019年)に対し、九十九里地域は0.8%に留まっている。

## ●来訪者調査の結果

👉リピーターが9割以上を占めるが、「銚子市」、「九十九里町」以外の構成市町村の認知・来訪経験、および、資源の認知は低い状況。旅行目的も限定的であり、九十九里地域が面として楽しまれていないことが窺える。

➤最近3年間(2020年11月～2023年10月)における九十九里地域来訪者の92.2%がリピーターであり、過去の来訪回数の全体平均は13.0回となっており、コロナ禍の影響は考慮しなければならないものの、リピーター比率が非常に高い。最近3年間の来訪回数の平均は4.1回。 <P22-23>

➤九十九里地域構成市町村の認知を見ると、「銚子市」87.8%、「九十九里町」75.0%、「東金市」63.0%、「茂原市」62.2%の順となっており、その他市町村の認知率は50%を下回っている。これらの認知率は千葉県居住者が引き上げており、東京都居住者のみで見ると、上位4市町以外は40%を下回っている。 <P25-26>

➤来訪経験は、「銚子市」59.8%と「九十九里町」47.0%が中心となっており、「茂原市」26.6%、「東金市」26.0%、「大網白里市」20.8%が次いでいるが、その他の市町村の来訪経験率は20%を下回っている。 <P27>

➤観光スポット・施設・イベント等の認知率を見ると、「犬吠埼灯台」が79.6%で最も高く、以下、「海の駅九十九里」45.4%、「白里海岸」40.4%、「白子温泉」39.2%の順となっており、来訪回数が10回以上の層においても、50%以上が認知しているのはこれら上位スポットのみとなっている。 <P33-34>

➤九十九里地域の主要なスポット・施設・イベント等の来訪経験率は、「犬吠埼灯台」が69.4%で最も高く、以下、「海の駅九十九里」37.4%、「白里海岸」31.2%、「道の駅季楽里あさひ」、「白子温泉」(ともに) 21.8%の順。 <P35>

➤直近の九十九里地域旅行の目的としては、「自然・景勝地訪問」が48.2%、「地域の食やグルメ」40.0%が他の目的を大きく上回り、以下、「温泉」29.8%、「ドライブ」17.0%の順となっている。 <P38>

● 来訪者調査の結果

☞「体験（レジャー・アクティビティ等）」、「土産物・物産品」、「九十九里地域での移動」の満足度が低く、体験型コンテンツや滞在プランの造成、それに合わせた、二次交通（特に自家用車利用の少ない若年層）の整備が求められる。

➢ 交通手段は「自家用車」が70.8%、「鉄道」20.0%、「レンタカー」14.2%の順となっているが、20代男女、20～30代単身層、40～50代単身層では「自家用車」の利用が全体を大きく下回り、20代男性、60代女性、40～50代単身層では「鉄道」の利用が3割以上見られる。<P41>

➢ 総合満足度では、全体の68.8%が満足したと評価しているが、「非常に満足」と積極的に評価している人は約2割に留まる。項目別では、「自然風景・景観」は79.5%、「食事」は75.3%が好意的に評価しており、総合評価を上回っているのに対し、「体験（レジャー・アクティビティ等）」、「土産物・物産品」、「九十九里地域での移動」は総合評価を大きく下回っている。 <下図参照>

➢ 再来訪意向者は全体の82.6%で、42.2%が「ぜひ訪れたい」と積極的な以降を示しており、積極的意向者は40代女性で6割、40～50代男性で5割台と多くみられる。 <P47>

➢ 九十九里の今後の観光振興の考え方として示した、「ウェルネストゥリズム」、「ガストロノミーツーリズム」、「アドベンチャーツーリズム」、「バイク・サイクリング&ハイク」についてはいずれも3割前後が実施意向を示している。 <P52>

➢ 九十九里旅行の情報源としては、「インターネット上のブログ・口コミ」が40.8%で最も多く、以下、「家族・友人・知人の口コミ」31.4%、「旅行情報誌・ガイドブック」27.0%、「SNS」23.6%の順。 <P53>

